

この演習の目的は, LaTeX の存在を知り, その基本的な使い方を修得することです. テキストの文章を自分で入力していると時間がすぐになくなるので, 今回は, 加納が用意したファイルを使って, DVI ファイルの作成と表示, ポストスクリプト (PS) ファイルへの変換と印刷までを行います.

LaTeX は慣れるのが大変ですが, 学術雑誌や国際会議へ論文を投稿する場合, LaTeX での原稿準備を前提とすることも多くなりました. LaTeX の主な利点は, 仕上がりが非常に綺麗であること, 章や節, 数式, 図表, 頁などの番号を自動的に割り付けてくれることでしょう. 特に数式を扱う論文やレポートを書く人には必須のアイテムです.

#### [ 作業手順 ]

- 1) メールに添付したファイル (sample1.tex, kadai.tex) をホームディレクトリに保存する.
- 2) 本演習で利用するファイルを移動する.

cd	ホームディレクトリへ移動する
mkdir latex1	ディレクトリを作成する
cd latex1	作成したディレクトリへ移動する
pwd	カレントディレクトリを確認する
mv ../sample1.tex .	ファイルをコピーする
mv ../kadai.tex .	ファイルをコピーする
ls	ファイルの存在を確認する

- 3) "Mule" を起動して, "sample1.tex" を開く.
- 4) DVI ファイルを作成する. 2 回実行すること.

```
platex sample1.tex
platex sample1.tex
```

- 5) DVI ファイルを表示する.

```
xdvi sample1.dvi
```

- 6) 氏名と学籍番号とを修正した後, 4)-5) の作業を繰り返す.

#### [ 注意事項 ]

コマンドは全て半角文字にすること.  
コマンドの後ろに必要な空白を入れること.

#### [ 課題 ]

- 1) "Mule" を起動して, " kadai.tex" を開く.
- 2) 氏名と学籍番号を修正する.
- 3) ファイルに書かれた指示に従って, ファイルを完成させる.
- 4) DVI ファイルを作成する.
- 5) DVI ファイルを表示し, 編集結果を確認する.
- 6) DVI ファイルを印刷する.

```
dvips kadai.dvi
```

- 7) 氏名と学籍番号を確認した後, 印刷した用紙を提出する.